

# 河道閉塞等対応の実施状況について

紀伊山地砂防事務所

# 工事施工状況(赤谷)

9月16日から  
緊急工事に着手

流水を安全に流すための仮排水路を施工

H24.4.24撮影



流水を安全に流すための仮排水路を施工(完成)



湛水池

仮排水路



流水を安全に流すための仮排水路を施工(完成)

H24.4.24撮影



# 工事施工状況(北股)

9月30日から  
緊急工事に着手

湛水池の埋戻し、仮排水路工が完了  
崩壊上部の不安定土塊除去、法面整形等を施工



法面整形

H24.5.14撮影



H24.5.14撮影

湛水池の埋戻し

仮排水路



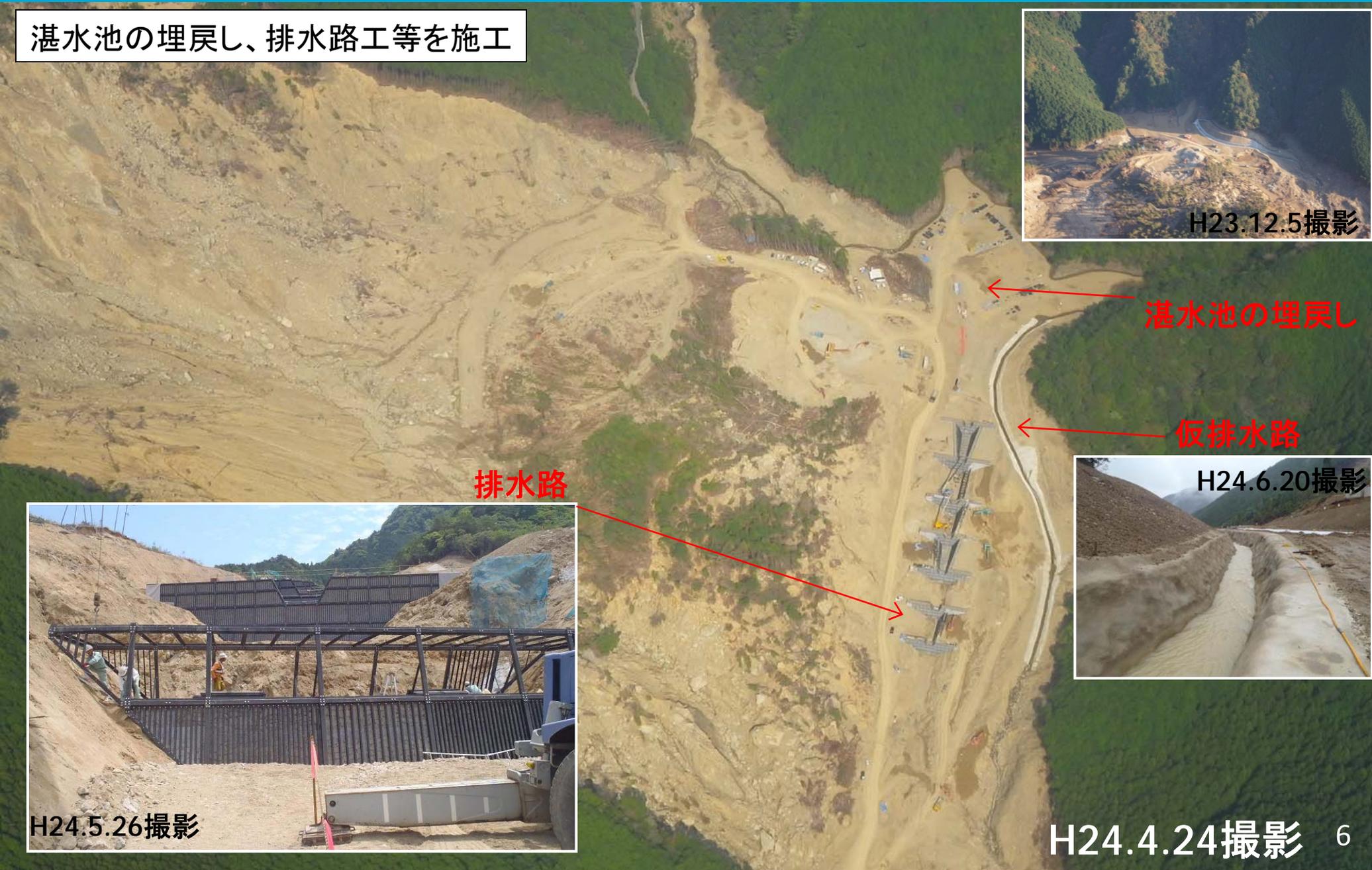
H24.6.2撮影

H24.4.24撮影

# 工事施工状況(熊野)

9月16日から  
緊急工事に着手

湛水池の埋戻し、排水路工等を施工



H23.12.5撮影

湛水池の埋戻し

仮排水路

排水路



H24.6.20撮影



H24.5.26撮影

H24.4.24撮影 6

# 工事施工状況(宇井)

排土工、仮設護岸工等を施工



排土工



仮設護岸工

H24.4.10撮影 7

# 工事施工状況(坪内)

排土工、仮設護岸工等を施工



H24.6.17撮影



H24.6.14撮影

H24.4.24撮影 8

排土工、仮設護岸工、埋戻工等を施工



# 平成24年・台風4号等通過後の河道閉塞箇所状況(赤谷・栗平・北股)

- ・平成24年6月19日～22日の降雨により、仮排水路への流水の流下や土砂の流入、斜面の侵食が発生
- ・すぐに下流へ大きな被害を与えるような状況ではない



崩壊斜面が一部崩落し、土砂が仮排水路に流入



湛水地からの流水の流下状況



仮排水路からの排水状況と末端部の洗掘



河道閉塞部の表面侵食により、排水パイプが一部損傷。

# 「河道閉塞等対策検討委員会」開催

- ・河道閉塞や深層崩壊箇所対策を実施する上で学識者の助言を得るため、「河道閉塞等対策検討委員会」を設置
- ・平成24年5月2日(水)、第1回委員会を開催。現地視察により助言を頂く。

委員(敬称略)

水山 高久=委員長(京都大学)

松村 和樹(京都府立大学)

藤田 正治(京都大学)

千木良雅弘(京都大学)

後藤 宏二(国土技術政策総合研究所)

服部 敦(国土技術政策総合研究所)

オブザーバー

奈良県、和歌山県、五條市、十津川村、野迫川村、天川村、田辺市



赤谷地区で工事の説明を受け現地を確認する委員

## ➤今後の予定(案)

- 8月頃まで3回程度開催し、対策の基本方針及び各地区対策案を確定
- ・委員会の成果を基に、対策工の詳細な設計を早急を実施していく予定



歩いて崩壊土砂斜面を調査する委員一行(長殿地区)



意見交換(紀伊山地砂防事務所内にて)



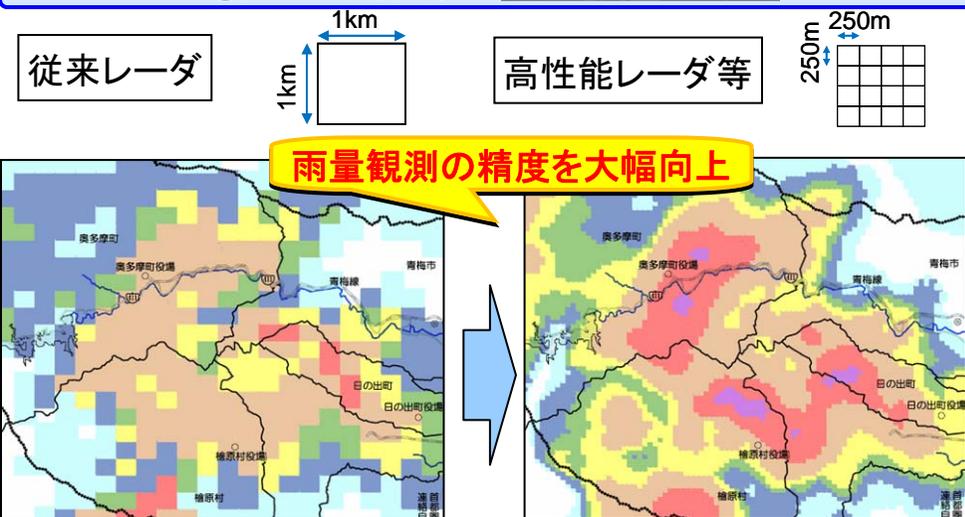
宇井地区にて調査

# 「大規模崩壊監視警戒システム(仮称)」の概要

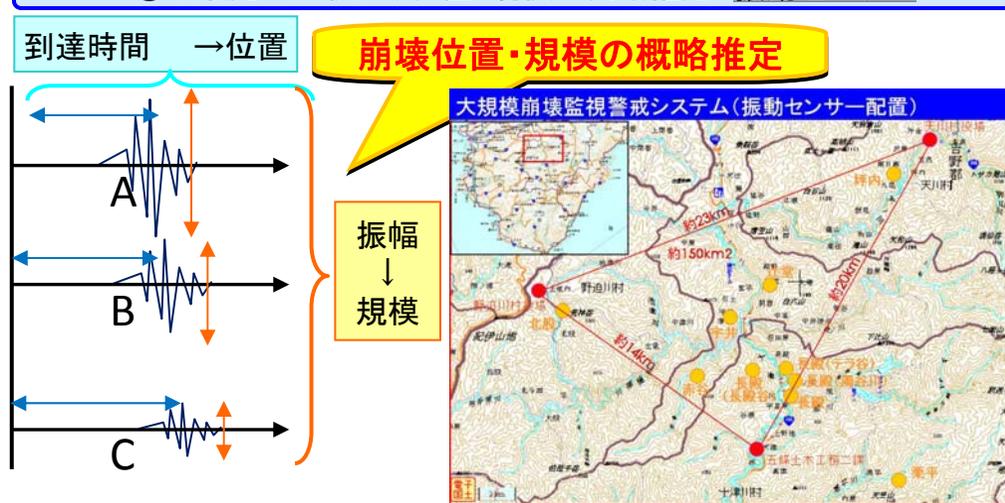
## ■大規模崩壊監視警戒システム(仮称)の構築

- ・台風第12号による災害を踏まえ、全国で初めて、紀伊半島において大規模な土砂災害の監視・警戒・避難に資する『大規模崩壊監視警戒システム(仮称)』の導入に着手。
- ・平成24年6月より振動センサーを試行し、現在は深層崩壊による振動を判別できるように精度向上のための取り組みを実施中

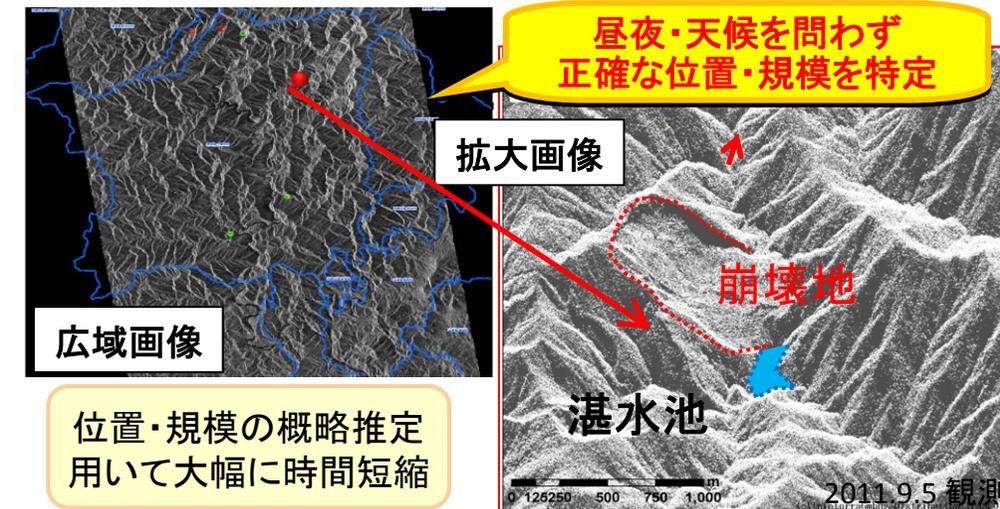
### ①降雨の監視・警戒 高性能雨量レーダ等



### ②崩壊発生を検知、位置・規模の概略推定 振動センサー



### ③崩壊位置・規模の特定 衛星画像解析



### ④情報集約、自治体・住民への伝達

より迅速・正確な土砂災害情報を関係機関と共有し、住民に提供することで警戒・避難の円滑化

